



令和3年度調査項目

- 1 佐潟水質調査
- 2 自然生態観察園の水質調査結果

水質調査について

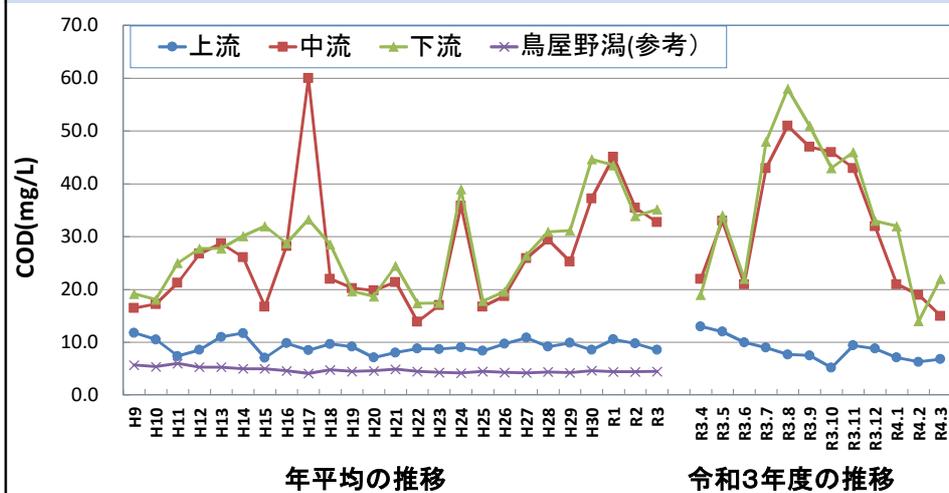
- (上・中・下流) 定点調査
- (ど: 潟側・歩道側) 定点調査



佐潟の水質の状況(COD)①

【年平均値】中流、下流の値は例年通り同じ推移となっている。年平均値は令和元年度に突出した値になったが、令和2年度は突出前の値に戻り、令和3年度は令和2年度と近い値となった。上流は例年同様の値となった。

【毎月調査】中流・下流では、例年通り夏季のCODの値が高かった。また、令和3年度は高い値が秋季まで続いた。値のみに着目すると突出した平成30、令和元年度から徐々に低くなり、平成28年度の記録と近い値になった。上流は例年通りの値であった。



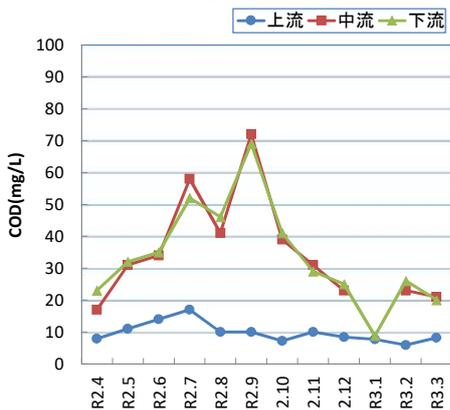
佐潟の水質の状況(COD)②

【傾向】

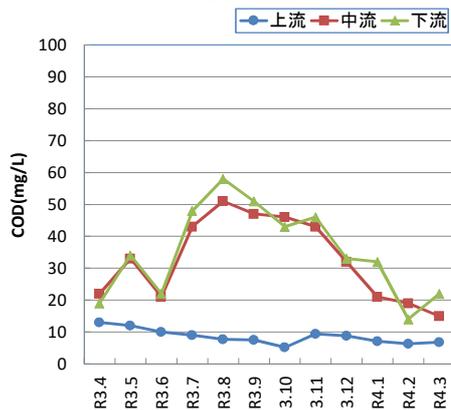
○中流・下流では、例年通り夏季のCODの値が高くなる傾向がみられた。平成29年度以降夏季に突出した値が見られていたが、令和3年度は夏季に向けて数値があがり、秋季までなだらかに推移した。CODの値は平成28年度の記録と近かった。

○上流では例年同様に、大きな変化は見られなかった。

令和2年度

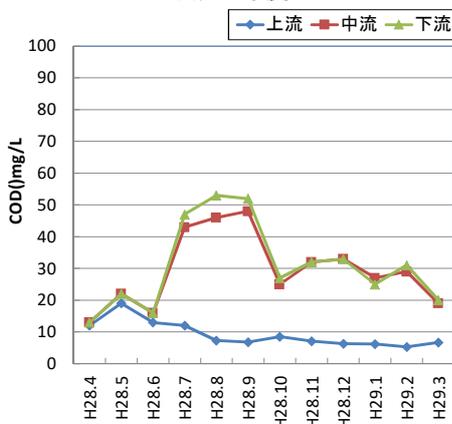


令和3年度

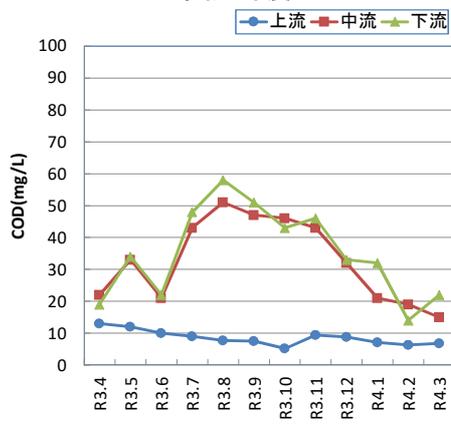


【参考】平成28年度のグラフとの比較(COD)

平成28年度



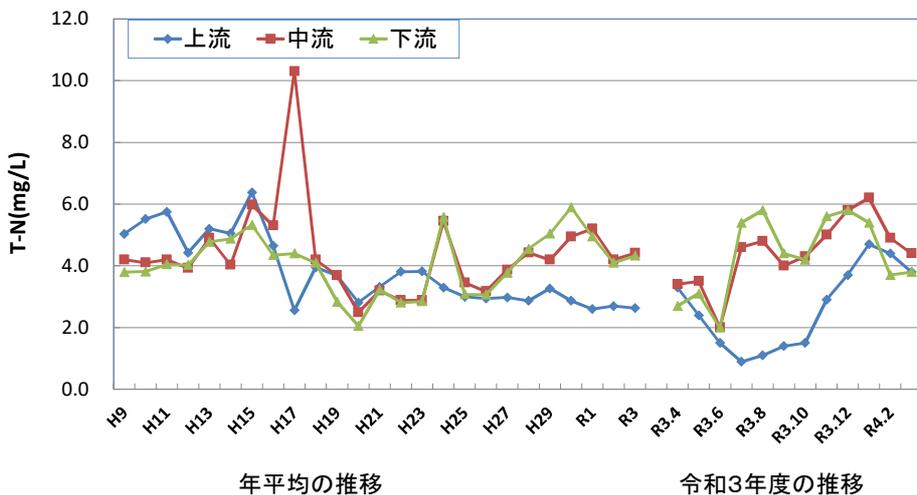
令和3年度



佐潟の水質の状況(T-N)①

【年平均値】上・中・下流で例年通りの値となった。

【毎月調査】中流・下流で例年通り夏季に上昇する傾向がみられた。例年と異なる点として、10月～1月にT-Nの上昇がみられた。(この傾向は平成28年度にみられている。)
上流は例年通り冬季に高い値となった。

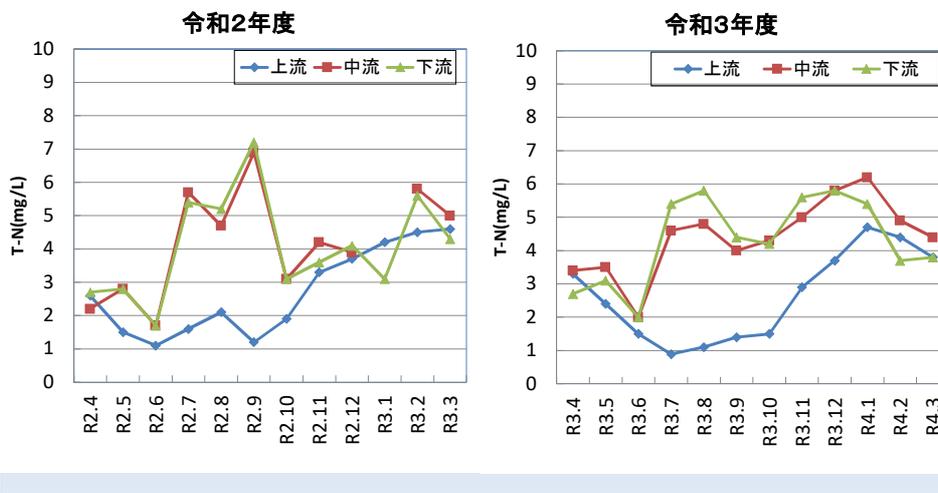


佐潟の水質の状況(T-N)②

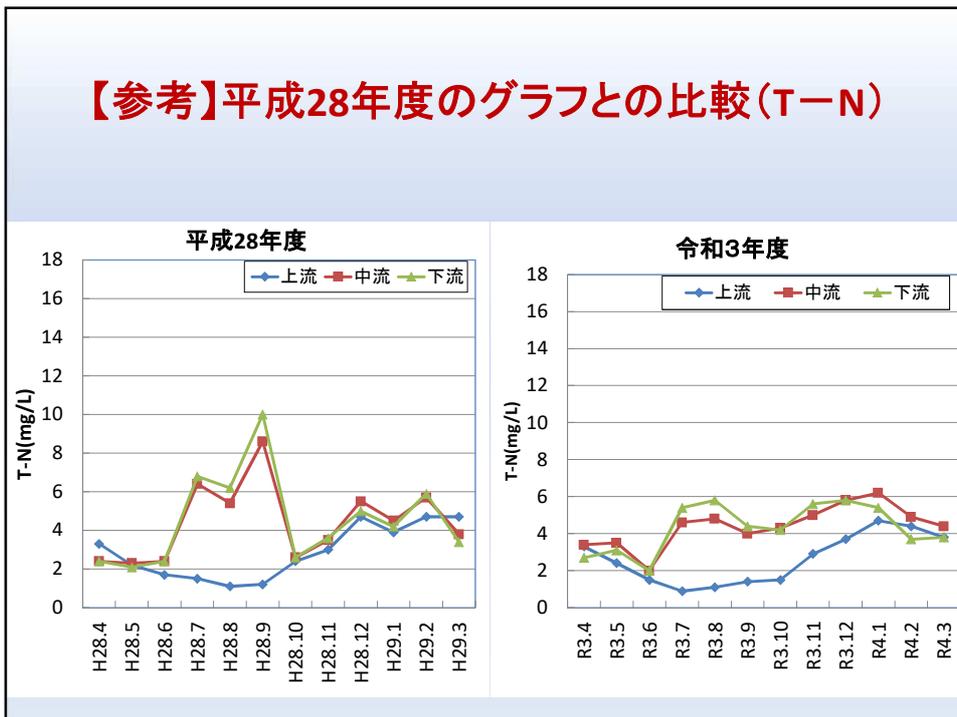
【傾向】

○中流・下流では、例年同様夏季に高くなる傾向がみられたが、例年と異なる点として10～1月のT-Nの値が高くなった。同じ傾向は平成28年度にみられているが、10月～1月の値が夏季と同じ値まで上がったことはなかった。値は平成28～令和元年度にみられた突出した値はなく、令和2年度同様なだらかな値となった。

○上流では例年同様に、冬季に高くなる傾向が見られた。



【参考】平成28年度のグラフとの比較(T-N)

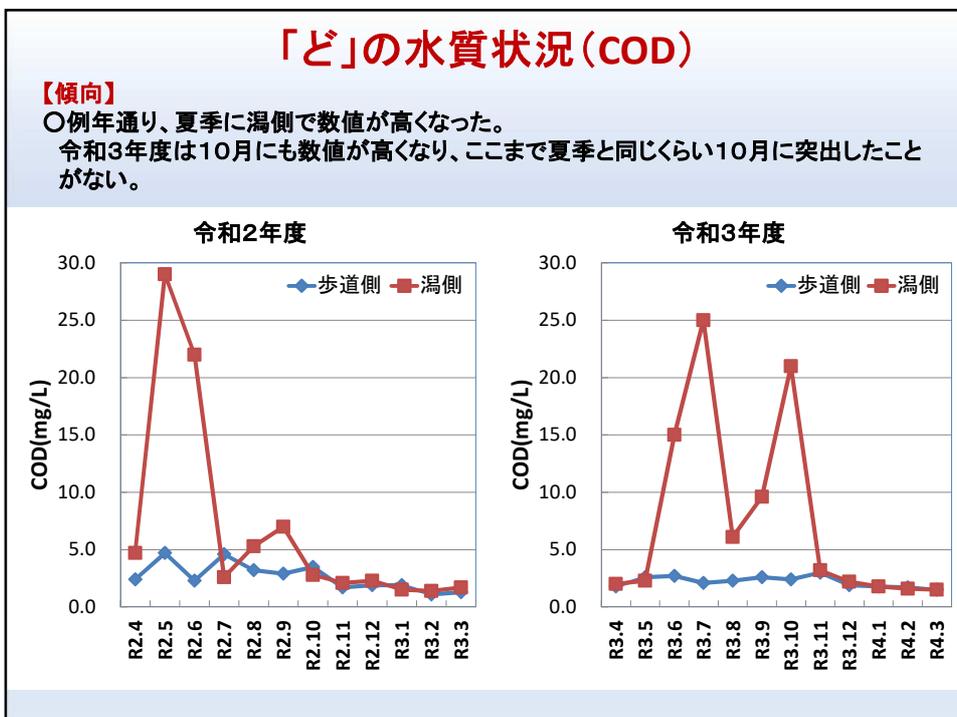


「ど」の水質状況(COD)

【傾向】

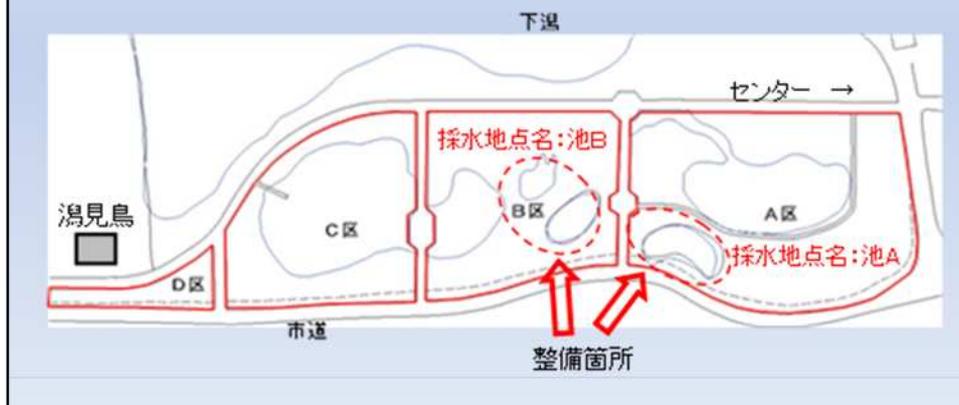
○例年通り、夏季に濁側で数値が高くなった。

令和3年度は10月にも数値が高くなり、ここまで夏季と同じくらい10月に突出したことがない。



自然生態観察園の水質調査について

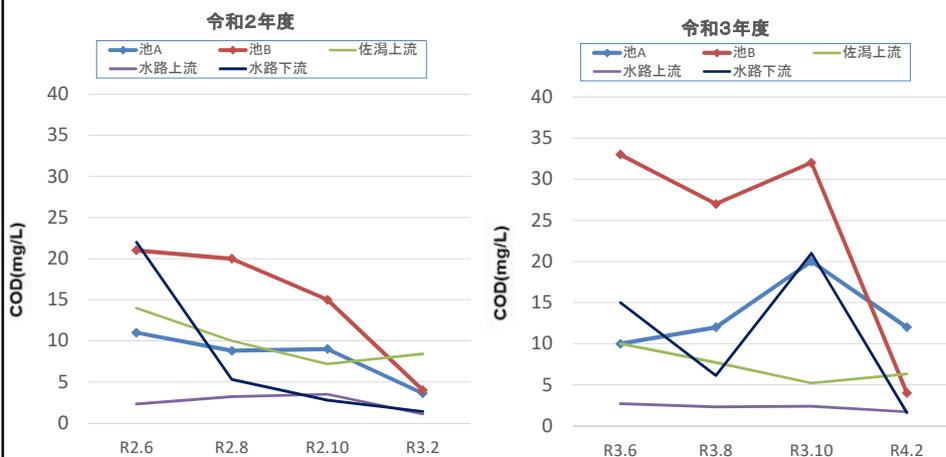
- エコトーンとして整備している池2ヶ所(池A,B)の水質を年4回(6,8,10,2月)調査
- 水質調査は佐潟の水質調査と同日に実施



自然生態観察園の水質調査結果

【COD】

- 池AではR2年度と比較すると10月の数値がかなり高くなっている。また、値の推移は令和元年度と反対の傾向であった。
- 池Bでは例年通り冬季が一番低い値となった。8月より6、10月が高い値となっていることは異なる傾向であった。R元、2年度と比較し、6月、10月の数値がかなり高くなっている。



※佐潟中流・下流域のCOD値は夏季に突出して高い値となっているため省略した。

自然生態観察園の水質調査結果

【T-N】

○池Aは例年同様に、他の地点と比較して低い値であった。
 ○池BはR元、2年度と比較して突出した値がみられなかった。

